

経営比較分析表（令和3年度決算）

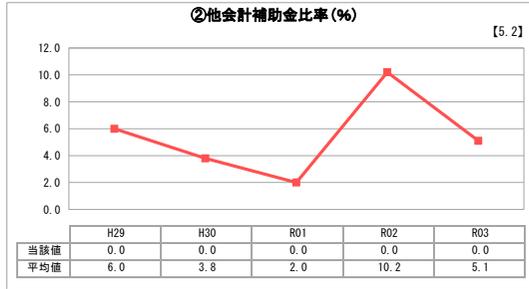
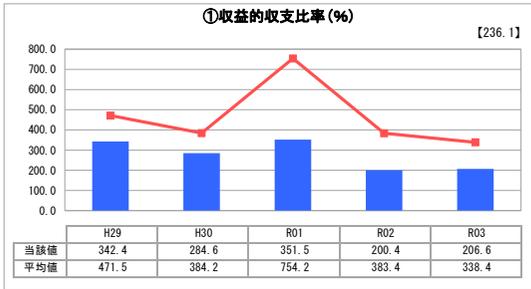
京都府八幡市 八幡市営駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	38	

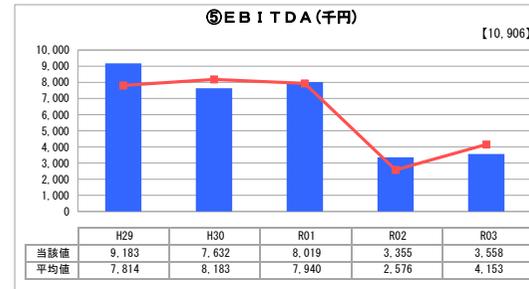
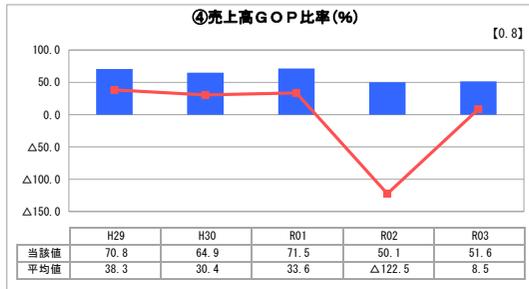
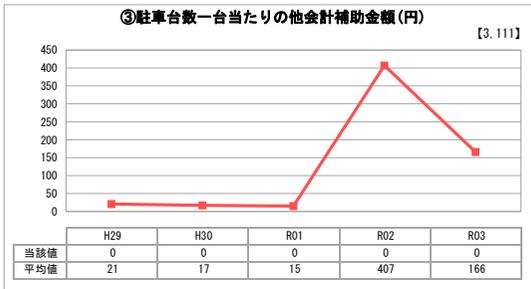
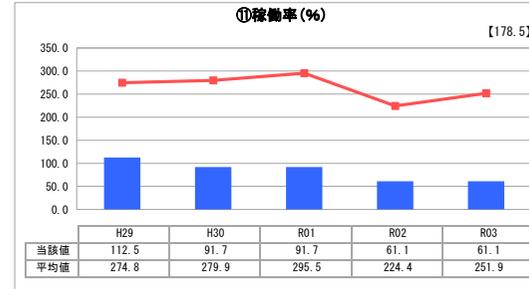
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,380
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
72	100	無

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

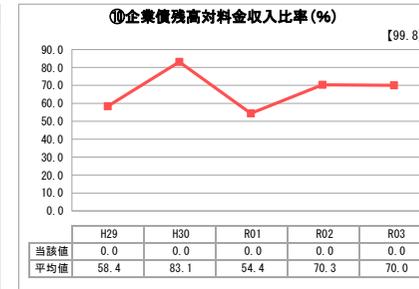


⑧敷地の地価(千円)

75,646

⑨設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
令和3年度の収支比率については、令和元年度から令和2年度の急激な落ち込みと比較して、比率低下は緩和された。また、料金収入が持ち直し増加した。
要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復傾向にあったことが考えられる。

2. 資産等の状況について
企業債の借入れはないが、駐車場整備をしてから10年以上経過しており、今後の設備等の老朽化を見込んで、健全な運営を行っていくため、検討すべきところである。

3. 利用の状況について
令和3年度の利用率は、前年度と比較してほぼ横ばい状態である。
令和3年度は新型コロナウイルスによる外出制限が緩和され、近隣で行事がある際には利用者が増加し、1台あたりの滞在時間が長くなった。

全体総括
当該事業は黒字事業であり、令和3年度は新型コロナウイルスによる影響は緩和され、利用率はほぼ横ばいで、料金収入が増加した。
今後は、利用者が徐々に増加することが見込まれる。収支のバランスをとりながら、老朽化する設備等の更新について、対応を検討していく必要があると考える。